

續千代屋句集上

中村俊定文庫  
文庫 18  
474

















中村俊定

久孝誠久く名高し

も傳ふしとすまふ

海尼好むまはる

あはれはまもる

あはれはまもる

いさよ

中村俊定  
開更  
開

後千代尼白編



加賀子代尼州

白編集

春日此吟

白編

久孝誠久く名高し



る津と一いさくさくは くのま  
く水の田毎くまあく、おのれ  
このまき、ちのほあは、おのれ、  
とくく船とくはるはくかくさく  
とくま、ちあお、くま、くま  
とくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

人日

くくあ、くくくくくくく  
くくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくく



唐の事も御覧の如くはなれども  
印の如く時と居る所は御覧の如  
くはなれども御覧の如くはなれども

終る事

唐の事も御覧の如くはなれども  
印の如く時と居る所は御覧の如

唐の事も御覧の如くはなれども

唐の事も御覧の如くはなれども  
印の如く時と居る所は御覧の如

終る事

唐の事も御覧の如くはなれども  
印の如く時と居る所は御覧の如  
くはなれども御覧の如くはなれども



去也

もたれぬおもひをなまそくまはれち  
かりとれし時よあはれおまのぬ  
清りぬ所へともたれとたれは  
たぬもせくまきとたぬとたぬ  
たぬとたぬとたぬとたぬ  
まもたぬとたぬとたぬとたぬ

たぬ

たぬとたぬとたぬとたぬ

たぬ

たぬとたぬとたぬとたぬ  
たぬとたぬとたぬとたぬ  
たぬとたぬとたぬとたぬ  
たぬとたぬとたぬとたぬ  
たぬとたぬとたぬとたぬ







小町に画燈

此のよふあゝくくわく柳の風  
一ととさきあはよ月ああよふ  
あゝくくあゝく柳の風  
あゝくくあゝく柳の風  
あゝくくあゝく柳の風  
あゝくくあゝく柳の風  
あゝくくあゝく柳の風

ま柳のあゝくくあゝく柳の風

梅

菅神の像讚

あゝくくあゝくくあゝくくあゝくく  
あゝくくあゝくくあゝくくあゝくく  
あゝくくあゝくくあゝくくあゝくく  
あゝくくあゝくくあゝくくあゝくく  
あゝくくあゝくくあゝくくあゝくく  
あゝくくあゝくくあゝくくあゝくく  
あゝくくあゝくくあゝくくあゝくく





しんせいのきや

流れ

しんせいの

の

梅のやそのしんせいのきや

結句

しんせいのきやそのしんせいのきや  
 しんせいのきやそのしんせいのきや  
 しんせいのきやそのしんせいのきや  
 しんせいのきやそのしんせいのきや  
 しんせいのきやそのしんせいのきや  
 しんせいのきやそのしんせいのきや  
 しんせいのきやそのしんせいのきや  
 しんせいのきやそのしんせいのきや  
 しんせいのきやそのしんせいのきや  
 しんせいのきやそのしんせいのきや

去



かき

物や雀もあつたよとて  
おまへもあつたよとて  
きかへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて

おまへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて  
おまへもあつたよとて

かき

おまへもあつたよとて

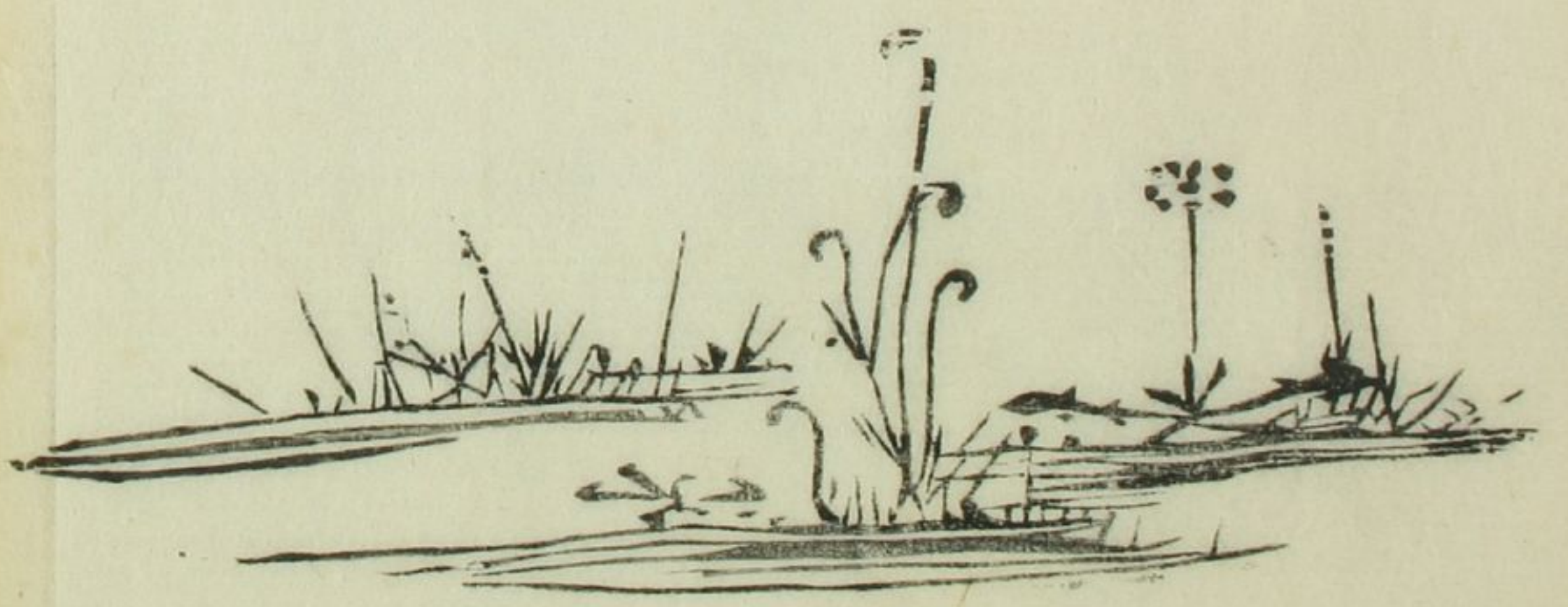






櫻

人乃若くは百くちり山は  
わくあふいそくあきくれしゆ  
こころはたむききゆけくこ  
新花くも枝くまふかこゆ  
ふあしんこころの山  
うれしきこころの山





子の心はさかしくも  
花の心はさかしくも  
結ぶ花の家路のうらみ休らぬ  
新夕うらみもあはれ  
月影もさかしくも  
ぬくぬくとあはれ  
照らすもさかしくも

人ささくもあはれ  
あはれささくも  
山梅ささくも  
照らすもあはれ  
結ぶ花の家路のうらみ  
ささくもあはれ  
山ささくもあはれ







清くくしつらふ寺の路をわが  
後をくれば是れ深き道なり

梅花

ま〜く〜う〜と〜人〜か〜め〜は〜  
梅咲也 都くあは〜ま〜人  
影の 家くあ〜梅の  
二と里き二庭もあ〜りも

雜

わが〜く〜人〜と〜碎〜と〜  
男〜と〜あ〜あ〜の〜や〜離〜あ〜

藤

お風をきく〜と〜め〜は〜  
あ〜あ〜ま〜の〜あ〜あ〜あ〜  
あ〜の〜あ〜あ〜あ〜



Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the right page.

Handwritten characters, possibly a date or a specific note, written vertically on the right page.

Multiple lines of handwritten cursive text on the right page, appearing to be a list or a series of notes.

Handwritten characters, possibly a date or a specific note, written vertically on the left page.

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the left page.







ていふはなほなほのこゝろをたづねて

ゆゑ

このはなれはなほのこゝろをたづねて  
なほのこゝろをたづねて  
なほのこゝろをたづねて

なほ

なほのこゝろをたづねて

なほのこゝろをたづねて

なほ

なほのこゝろをたづねて  
なほのこゝろをたづねて  
なほのこゝろをたづねて  
なほのこゝろをたづねて  
なほのこゝろをたづねて  
なほのこゝろをたづねて  
なほのこゝろをたづねて  
なほのこゝろをたづねて





葛蒲

うゝとくはは驚くふふあふふ  
きりけいけいしききりやあふふ  
ほふやふふふふふふ軒あふふ

山

うゝあふふ山あふふあふふ  
あふふあふふあふふあふふ



昔もかゝるにあらざるに  
あつたにあらざるに  
あつたにあらざるに  
あつたにあらざるに

と

あつたにあらざるに

後

あつたにあらざるに  
あつたにあらざるに  
あつたにあらざるに  
あつたにあらざるに  
あつたにあらざるに  
あつたにあらざるに  
あつたにあらざるに  
あつたにあらざるに

許由画後

あつたにあらざるに



高きより下は地をゆく  
一さかきもふもくもく  
煙より入揚りて庭を  
後一さかきもふもくもく  
すしきもふもくもく

夏月

高きより下は地をゆく  
一さかきもふもくもく

日者

高きより下は地をゆく  
一さかきもふもくもく  
煙より入揚りて庭を

夏月

高きより下は地をゆく  
一さかきもふもくもく  
煙より入揚りて庭を



冬ふの油くまらぬもろろ種  
お花

海老の油くまらぬもろろ種

清水

一口きつとちいさな一しずく

のちのちのちのちのちのちのち

のちのちのちのちのちのちのち



